



銃撃テロ対策

無差別銃発砲事件に巻き込まれたら

オリジナル: 米国土安全保障省作成
ジャムズネット東京版



逃げる (RUN)



- 事件に気づいたら**迷わずすぐに逃げる。**
- **周囲の人が何と言おうと逃げる。**
- 荷物はすべて置いて行く。
- エレベーターは使わない。
- **可能ならば**他の人が逃げるのを手助けする。 但し、自分が逃げる妨げにしないこと。
- **大切なのは、あなた自身**であって、あなたの仲間ではない。
- 事情を知らない人が現場に入ろうとしていたら止める。
- **常に周囲の状況を把握し、逃げる方法を考えておく。**
- できるだけ早く犯人から離れる。
- **安全が確認できた時点で警察へ通報。**



隠れる(HIDE)



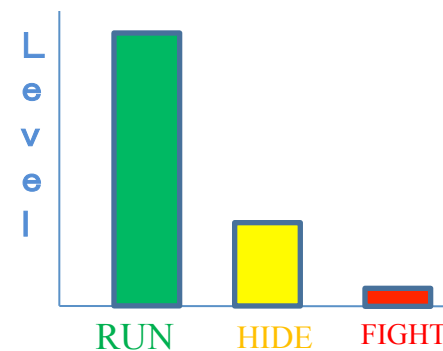
- もし逃げるができなかったら、隠れる場所を探す(常に考えておく。)
- 静かに、そして素早く行動する。
- ライトを消し、ドアに鍵をかける。ドアや窓の前から離れる。
- 携帯電話をサイレントモードにする。
- 犯人が入れないようにバリケードを築く。
- (安全な場所がない場合) 犯人から見えない場所に隠れる。
- 物音を絶対に立てないようにする。
- クローゼットなど安全な場所がない場合は、視界を遮る物の後ろに隠れる。



闘う(FIGHT)



- 逃げることも隠れることもできなかった場合、自分を守るための準備をする。
- あなたには、自分を守る権利がある。
- 身近にあるあらゆる物を道具にして、どんなことをしてでも生きなさい。
- フェアに闘おうなどと思っはいけない。
- これは、あなたの生命をかけた闘いであるからどんな手を使っても勝たなければならない。
- 「撃たれること＝死ぬこと」ではない。命ある限り闘い、助けを待つ。





警察官が到着したら



- 心を落ち着けて警察官の指示に完全に従う。
- 常に両手を見せ、動かない。
- (犯人を)指差したり叫んだりしない。
- 最初に現場に来るのは制圧チーム。負傷者救出チームはすぐに来る。
- (未だ解決前であれば)犯人の情報、被害者の情報を伝える。ただし、知らないことを見込みや予想で話さない。
- 銃撃戦になったら地面に伏せ、動かない。

海外安全動画の活用

(海外へ渡航するあなたへ ～外務省からのお知らせ～)

海外安全ホームページ、外務省旅行登録「たびレジ」、「海外安全アプリ」のメリットや活用方法、犯罪等の予防策や各種事案に遭遇した場合の対処方法などを分かりやすく解説。(

<http://www.anzen.mofa.go.jp/video/video11.html>)

海外安全ホームページ

海外安全ホームページに掲載している情報を解説



外務省海外旅行登録「たびレジ」

「たびレジ」に登録するメリットや登録方法を解説



スマートフォン・タブレットからもご覧いただけます。



海外安全アプリ

海外安全アプリの3大メリットを解説



予防策・対処方法

渡航前に知っておきたい犯罪の手口と予防策や銃撃・爆発事案への対処法を解説

